

## 平成 30 年度 公民館主催事業報告書

公民館運営審議会提出日 4 月 24 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師
1	柳沢	くるみ学級	交流	通年 全 40 回	延べ 647 人	学級生が自分たちで話し合 って活動内容を決めること で、さまざまな活動に意欲的 に取り組むことができた。仲 間やボランティアスタッフ らとの交流を通して学び合 い、自主性や社会性を培っ た。	ダンスワークショップ (6 月、2 月各 1 回) 中村ひろみ、清水優華
2	柳沢	ムービールーム 柳沢	交流	通年 全 25 回	延べ 1,220 人	新しい参加者も増え、幅広い 層の利用があった。交流会に も少しずつ参加が増え、会で 選定した映画も上映した。	天野理 (東京労働安全衛生 センター事務局員) 嶋野寛章(日本映画大学映画 学部映画学科理論コース卒)
3	柳沢	地域づくり未来 大学 ～学びで地域を 豊かにする第一 歩～	地域づく り	10 月 20 日から平成 31 年 3 月 16 日まで 土曜日 全 11 回	延べ 147 人	地域に関心を持ち、知るこ との大切さを認識し、学びを地 域で循環していく「おとなの 学び」の取り組み方を学ん だ。グループ活動で活発な意 見交換を行い、地域課題の共 有ができた。	高井正 (立教大学) 倉持伸江 (東京学芸大学) 岩松真紀 (明治大学) ほか

4	田無	社会問題講座 学生による子ども食堂と学習支援	地域づくり	4月22日、6月24日、8月26日、11月25日、12月23日、平成31年2月24日 日曜日 全6回	延べ109人	学生たちが主体的に企画運営を行うことで、地域活動に参加する機運を高めることができた。学生と小学生を繋ぎ、異年齢交流と居場所づくりができた。	なし
5	田無	子育て中の女性のための講座 「私の創作レシピ～入門編～」	学習・自己実現	9月27日から平成31年3月14日まで 木曜日 全18回 (サークル化に向けての話し合いを含む)	延べ219人 (公開講座13人含む)	絵本創作と読み聞かせの体験を通して、表現することの楽しさや奥深さを学ぶことができた。今後もサークルとして絵本創作を中心に、学びを深めていくことになった。	小川こころ(童話作家) 吉田朋子(管理栄養士/、キッズキッチンインストラクター) 松居友(フィリピンミンダナオ子ども図書館館長) 野村須磨子(俳優、声優、エンターテイメントスタジオ講師)
6	田無	あめんぼ青年教室	地域づくり	通年 全47回	延べ1,240人 (ボランティア、支援員含む)	学生ボランティアと障がいのある青年たちが共に学び活発な交流を行うことから、互いを理解することができた。学級生が自分たちの話し合いを大切にすることで主体的な活動となった。	板倉哲ほか(青年劇場) 西村直人(えほんうた・あそびうた代表)

7	田無	ロビー企画	交流	通年 全7回	延べ 178 人 (コンサートの のみ)	公民館の利用サークルや市民と共にコンサートや作品展示を企画し、地域の方々に公民館での活動内容を知ってもらう機会となった。サークルのメンバーと観客との交流も図ることができた。	なし
8	芝久保	防災講座 避難所運営ゲーム(HUG)を 体験しよう	地域づくり	11月22日(木)	23人	けやき小学校避難所運営協議会と共同で開催したことで、防災に関心のある市民だけでなく、けやき小学校の保護者やこの地域で活動する市民が防災を学ぶ機会となり、意義があった。	荘雄一郎(西東京レスキューバード)ほか西東京レスキューバード会員3人
9	芝久保	第36回 芝久保公民館まつり	交流	10月27日(土)・ 28日(日)	延べ900人	実行委員会で選出された役員が中心になり、参加団体が主体的に話し合い協力しあって進めることができた。保育を利用する母親サークルがまつりの運営に積極的にかかわったことで、若い世代の考えを実行委員会の場に反映させることができた。	イベント講師 くまねずら(人形劇) 柳沢マジッククラブ(マジック) 金城龍之介(バスバリトン) 岡内順子(ピアノ)

10	芝久保	地域で創る教育ネットワーク講座 「子どもが育つ地域をつくるために～子どもたちの「今」と大人の役割」	地域づくり	3月9日(土)	9人	時代と共に変わる家族像にあわせ、地域の大人に求められる役割も変化することを多くの事例から学ぶことができた。また、地域の子どもにかかわる活動の実態を具体的に聞き、成り立ちや課題などについて理解を深めた。	上田幸夫(日本体育大学教授、元西東京市公民館運営審議会委員)
11	芝久保	平和を考える講座 戦争遺跡フィールドワーク	学習・自己実現	3月23日(土)	23人	戦争は、今では遠い昔の出来事、遠くの国の出来事であり、自分たちの身近な問題としてとらえることは難しい。戦争遺跡を巡ったことで、参加者は知識だけでなく戦争の悲惨さを実際に目にし、感じる事ができた。	牛田守彦(法政大学中学高等学校教諭、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会代表) 渡部國夫(西東京平和のための戦争展・西東京市会員)
12	ひばりが丘	いきいきナイスシニアを楽しもう!	学習・自己表現	3月18日(月)・20日(水)・22日(金)・26日(火) 全4回	延べ89人	体の動かし方について、1人でもできること、仲間と一緒にだからこそできることの両面を体験し、日常生活の中で健康的な心や身体づくりに大切なことを意識づけることができた。	甲野陽紀(身体技法研究者) 長谷川しのぶ(ら・ら・ら体操教室講師) 佐藤俊朗(朗々)(川柳朗遊会講師) 元木貞文(笑いヨガティーチャー)

13	保谷駅前	あつまれ！みんなのけいおん講座	学習・自己実現	7月8日から平成31年3月17日まで 日曜日 全9回	延べ110人	月に1回開催、保谷駅前公民館の防音室、音楽機材を若者に開放し、ギター、キーボード、ドラムのグループにそれぞれ分かれ練習をした後、毎回一つの曲を合奏できるところまで進み、全員で音楽を楽しむ活動を行うことができた。	太田光宏（音楽制作集団 HEART NOTE PROJECT 代表） 渡邊篤子（生涯学習音楽指導員） 山本雄一（ドラム講師）
14	保谷駅前	女性講座 「ひきこもり女子会の作り方」	学習・自己実現	7月5日・12日、平成31年3月28日 木曜日 全3回	延べ47人	自分たちの生きづらさの根底に潜むものについて学び、地域において当事者同士がつながり合い、自分たちの居場所を作り出すため、フリートークの会や読書会などの催しを実施、思いの共有を通じた主体的な活動に取り組むことができた。	林恭子（一般社団法人ひきこもり UX 会議代表理事）
15	保谷駅前	防災講座 BOSAI 学校～自力で3日間を生き延びる術（すべ）を伝授します～	地域づくり	2月9日・23日、3月9日 土曜日 全3回	延べ92人	地域又は各家庭において震災時、どう対応するべきかを具体的に例をあげて解説することで、丁寧に学ぶ機会を得ることができた。	小野修平（ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー）

16	保谷駅前	オレンジカフェ 保谷駅前（認知症カフェ）	地域づくり	通年 毎月第3木曜日	延べ184人	<p>3年目に入り、オレンジカフェが誰でも気軽に集える居場所として定着した。</p> <p>また、様々なイベント企画・運営を通して、情報交換の場になり、地域の認知症カフェのあり方を考えるきっかけの場になった。</p> <p>更に、地域全体で、認知症を理解し、支え合う体制が重要であると共通理解を深めた。</p>	
17	保谷駅前	公民館ビギナー講座 Happyセカンドライフ ～地域との関わり方を学びと実体験で考えよう～	学習・自己表現	1月26日、2月16日、3月16日 全3回	延べ40人	<p>先人の体験談や市民団体の活動紹介・体験見学をとおして、地域には様々な団体があることを知った。また、定年間近または定年後の方が、自分のライフスタイルを振り返り、豊かに生きるポイントを考える機会をもち、充実したセカンドライフを送るための、生きがいを見つけるきっかけとなった。</p>	<p>高井正（立教大学） 池田干城（西原自然公園を育成する会） 横田忠夫（NPO 法人地域福祉マリーナ） NPO 法人西東京花の会 屋敷林保存会 保谷朗読ボランティアの会 NPO 西東京レスキューバード</p>